

各 位

会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩本 宣頼
 (JASDAQ・コード 7886)
 問合せ先 責任者役職名 管理本部長
 氏 名 鈴木 昭仁
 (TEL 03-3834-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

昨年実施した構造改革の成果を踏まえ、最近の業績動向を勘案した結果、平成22年5月 14 日付「平成22年 3 月期決算短信」にて公表いたしました、平成 23 年 3 月期第2四半期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	6,700	65	30	25
今回修正 (B)	7,000	130	70	50
増減額 (B - A)	300	65	40	25
増減率	4.5	100.0	133.3	100.0
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期第二四半期)	7,970	▲192	▲267	▲114

2. 修正理由

最近の景気の持ち直しに加え、当社グループを取り巻く業界におきましても需要回復が活発化するなど一段と明るさが見えてまいりました。また当社グループにおきましても、昨年実施いたしました構造改革の成果が顕出し、売上の増加と相俟って業績面でも回復基調が鮮明になってまいりました。当面この基調は第 2 四半期は維持できるものと認識しております。

この結果、平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結業績におきまして、売上高、営業利益、経常利益ならびに当期純利益において上方修正をいたしました。

売上高につきましては前回公表 (本年 5 月) 時に比べ微増であります。経費削減効果の寄与もあり、全ての利益で上方修正するものであります。

なお、個別につきましては、継続企業の疑義に関する注記も残る等、不確定要素が存在するため今回は変更いたしません。

通期業績につきましては、第 1 四半期では、営業黒字となりましたが、継続企業の疑義に関する注記も依然として残っている等、上記同様に、本年度下期に向けて不確定要素が払拭しきれない可能性もあるため、今回は修正を行わないことといたしました。

今回の業績予想の上方修正を励みとして、昨年出資いただいた永田紙業株式会社や明成物流株式会社との連携をさらに深め、より一層の業績改善に取り組んでまいりますので、何卒ご理解ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上